

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	平成30年10月22日(月) 19時00分から20時40分
会 場	新井区民活動センター 洋室2、3、4号
テ ー マ	旧中野刑務所正門のあり方
出席者 区 民	計 52人
区 側	区長 政策室副参事(企画担当) 政策室副参事(基本構想担当) 北部すこやか福祉センター副参事(地域支援担当) 健康福祉部副参事(文化・スポーツ担当) 教育委員会事務局副参事(子ども教育施設担当)
事務局	企画分野職員2人、広報分野職員1名、文化・スポーツ分野職員2名、子ども教育施設分野職員2名、北部すこやか福祉センター地域支援担当分野職員1名
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

区長あいさつ

本日はテーマを絞って、「旧中野刑務所正門のあり方」をテーマとして実施させていただきます。
 今回のテーマにしたのは、例えば、平和の森公園や哲学堂公園などの整備をする時に実は地元の住民の方が、「こういう計画があることを知らなかった」、「工事が始まって初めて知った」ということが頻繁に起こっていた。それは一番まずいことだと私は思っている。門を残す、残さないということは、行政だけで決めて良いことではなく、地元の住民の皆様の理解や納得を得ながら進めていかなくてはならない。
 人によっては、このようなテーマでタウンミーティングをすると、住民の対立をあおっているのではないかと言う人がいるが、私はそうは思わない。住民の合意によって決めて行くことがきわめて重要なことであると思う。
 皆さんが話し合う中で、おそらく、残したい、残したくない、色々な立場の方の考えがあると思うが、お互いにテーブルの中でシェアをし、それを最後に発表してもらい、私たち行政にご意見を伝えてもらいたいと思っている。皆さんのご意見を踏まえて、最終的に責任をとって決めたいと思っており、皆さんのご意見をきちんと聞いていきたいと思っています。

各グループの発表概要

■門の保存・活用に関すること

- ・ 建築的価値からも門を残してほしい。
- ・ 門の歴史的、文化的価値は高い。
- ・ さまざまな思い出があるので、資料館などで後世に伝えていくべきである。
- ・ 残す、残さないにかかわらず記録をすることは費用的に安いのでしてほしい。
- ・ 壊してしまうと価値はゼロとなるが、移設してある程度、価値が残るのであれば、それでも良いのではないか。
- ・ 門の価値が分からない。ここに絶対残さないといけないものか。移設しても少しでも価値が残れば良いのではないか。
- ・ 門は残しつつ、子どもたちのために安全性を確保し、校庭を広くしてほしい。
- ・ 学校の建築にあたっては、子どもの安全面を確保したうえで、門を保存しつつ、教職員の仕事のしやすさを担保する動線の確保がなされなくてはならない。
- ・ 門を現在地から移設することで、学校として少しは使いやすくなるのではないか。
- ・ 一般の方が小学校に入ることは安全面から心配であるため、門と学校は切り離して考えてほしい。
- ・ 区内の建築家の方から提案がされていることを踏まえ、白紙の状態から関係者が集まり、話し合う場をつくってほしい。
- ・ 文化財としての調査を外からだけでなく中にも入り、きちんと見てほしい。国の指定になるかもしれない。
- ・ 平和の森小学校という名のとおり、ここから平和を発信していく場になってほしい。
- ・ 子どもたちに門の歴史を伝える際には、教職員の工夫も必要である。
- ・ 学校に一般の方が入ってくることによって不安を感じる人もいるので、観光として活用するにあたって、年に何回と、公開日を設ける必要がある。
- ・ ダークツーリズムというような観点から、暗い刑務所のイメージではなく、網走刑務所のように観光資源として活用できれば良いのではないか。

■その他

- ・ 地域を超えた価値があるのであれば、クラウドファンディングなども活用してほしい。
- ・ 隣の敷地や小学校が移転した後も現・平和の森小学校の敷地を使えないかなど、別な選択肢についても考えてほしい。
- ・ 子どもがゆったり遊べる校庭がほしい。
- ・ 区は子どもたちのために、小学校にお金をかけてほしい。
- ・ 地域開放型図書館ができるので、地域に開かれた学校になってほしい。
- ・ 近隣の小学校の統廃合も見直してほしい。新井小学校と上高田小学校が統合する計画となっているが、新井小学校は平和の森小学校に近いため、新井小学校の児童が平和の森小学校に来たいと希望し、今よりも平和の森小学校の児童が増えてしまう恐れがある。

発表に対する区長のコメント

■門の保存・活用に関すること

- ・門の保存については、様々残してほしいという声を聞いている。
- ・建築上も貴重なもので、学校の敷地にあるというのは、恐らく他にほとんどないのではないか。残すのであればそれをきちんと伝えていかなければならない。
- ・子どもの安心安全は必ず確保しなくてはならない。我々としてもなんとか知恵をしぼらなくてはならないと思っている。
- ・門と学校は切り離して考えてほしいとの意見があったが、一般の人が、立ち入りできる小学校はあり得ないと思う。門の見学者と児童の動線は分けて考えるべきだと思っている。
- ・文化財調査をしっかりとやってほしいとの意見があったが、まだ所有は国にあるので、今は行うことができない。区が取得した段階でしっかり調査をしたい。

■その他

- ・全国から残してほしいという声は聞こえるが、中野区民の税金で残すことになる。クラウドファンディングができれば非常に良いことだと思う。
- ・隣の敷地の活用ということも意見としてあったが、その点も含め可能性は探していきたい。
- ・子どもたちへの投資は増やしていく必要があると考えている。
- ・学校再編については、当初の見込みよりも児童数が増加しているところもある。しかし、長期的に見ると、当然、いずれは児童数の減少に転じる。今後、児童数がどう推移していくのか、もう一度シミュレーションをしたいと考えている。